大阪市環境影響評価専門委員会（陸生生物・水生生物合同部会）会議要旨

１　日　時　　令和３年12月３日（金）14時00分～16時00分

２　開催場所　ウェブ会議の方法により開催

３　出席者　　専門委員会委員：内井委員　西野委員

特　別　委　員：髙木委員

事　　業　　者：公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会

連絡会委員：環境局環境管理部環境管理課長　他

事　　務　　局：環境局環境管理部環境管理課

４　議　題　　２０２５年日本国際博覧会環境影響評価準備書について

５　議事要旨

・　準備書の内容等について事業者から説明があった。

・　提出された住民意見について事務局から説明を行った。

・　動物、植物、生態系に係る準備書の内容について審議を行い、指摘・意見を次のとおり取りまとめた。

〔動物について〕

・　市民団体の調査結果について、評価書の既存資料に確実に反映されたい。

・　カヤネズミの生息・生育環境について、（仮称）舞洲駐車場予定地周辺には一定の広さの生息環境が残されるものと考えられるが、予定地内において営巣が確認されていることから、着手前に綿密に調査を行い、繁殖が確認された場所の草刈りにあたっては繁殖時期を避けるなど影響の回避・低減に十分配慮されたい。

・　夢洲では多様な鳥類が確認されていることから、専門家等の意見を聴取しながら、工事着手までにこれら鳥類の生息・生育環境に配慮した整備内容やスケジュール等のロードマップを作成し、湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全・創出する必要がある。

〔植物について〕

・　市民団体の調査結果について、評価書の既存資料に確実に反映されたい。

・　事業予定地内の工事を実施しない場所において、生息が確認された種については、確認位置の改変がない場合であっても、本事業の工事により水質等の生息環境への影響があると考えられる場合は、関係機関と協議の上、環境保全対策を実施されたい。

・　移植種については、活着状況は重要であることから、関係機関と協議の上、今後の生育状況について確認されたい。

・　ハマボウ、ホソバノハマアカザ、ウラギクについて、早急に現地の状況を確認した上で、本事業の工事により生息環境への影響が想定される場合は、関係機関と協議の上、環境保全対策を実施する必要がある。

〔生態系について〕

・　会場で使用する植栽については、調達元の自然環境の保全に配慮するとともに、地域個体群への遺伝子汚染の影響や付着した病害虫の影響などを考慮し、適切な樹種を選定されたい。

・　会期終了後に植栽を再移植する場合は、衰弱又は枯死しないよう工法や時期に十分配慮されたい。

・　生態系の注目種は多様な鳥類で構成されていることから、専門家等の意見を聴取した上で、これら鳥類の生息・生育環境に配慮した湿地や草地、砂れき地等の多様な環境を保全・創出する必要がある。

６　問合せ先

環境局環境管理部環境管理課

住所　〒559-0034　大阪市住之江区南港北２‐１‐10　ATCビルO's棟南館５階

電話　06-6615-7938